

アンケート調査用紙

ご回答いただく方ご自身について

町丁名（例：法隆寺西3丁目）をご記入ください。

お住まい	斑鳩町
------	-----

問1. 小学校の規模についてご回答ください

(1) 小学校の1学級あたりの児童数は、町独自の少人数学級編制で、「小学校1・2年生は1学級30人、3年生～6年生は1学級35人」としていますが、国の基準によると「小学校5年生までは1学級35人、6年生は1学級40人を標準とする」となっています。1学級あたりの児童数について、どう思われるかご回答ください。

(1つに○)

1. 現状より少ない方がよい
2. 現状のままでよい
3. 現状より多い方がよい

(2) (1) の回答で「現状より少ない方がよい」と答えられた方は、そう思われる理由をご回答ください。

(複数選択可)

1. 児童一人ひとりに目が届き、きめ細かな指導が行われる
2. 学力を伸ばすことができる
3. クラスとしての一体感が生まれる
4. 一人ひとりが大切にされる
5. 教室にゆとりがでる
6. 学習活動や学校行事等において、児童一人ひとりの活躍や登場の機会が多くなる
7. 児童の人間関係が深まりやすい
8. その他 ()

(3) (1) の回答で、「現状より多い方がよい」と答えられた方は、そう思われる理由をご回答ください。

(複数選択可)

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. 多くの児童との交流が生まれる2. お互いに学力を高めあうことができる3. 社会性を身に付ける機会に恵まれる4. 集団内で色々な役割分担を経験できる5. 運動会や発表会等の学校行事が盛り上がる6. 多様な考え方に触れる機会が多くなりやすい7. その他 () |
|---|

(4) 小学校の学級数は、国の基準によると「1 学年あたり 2～3 学級（全校で 12～18 学級）を標準とする」（なお、複式学級を解消するためには少なくとも 1 学年 1 学級以上（全校で 6 学級以上）であることが必要となります。また、全学年でクラス替えを可能としたり、学習活動の特質に応じて学級を超えた集団を編成したり、同学年に複数教員を配置するためには、1 学年 2 学級以上（全校で 12 学級以上）あることが望ましい）となっていますが、どの程度の学級数が望ましいと思われるかご回答ください。（1 つに○）

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. 1 学年あたり 1 学級2. 1 学年あたり 2～3 学級3. 1 学年あたり 4 学級以上 |
|---|

(5) (4) の回答で「1 学年あたり 1 学級」と答えられた方は、そう思われる理由をご回答ください。（1 つに○）

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. 一人ひとりに目が行き届いた、きめ細やかな教育ができる2. 学校行事などで一人ひとりに活動の場があり、かつ、活動時間が十分取れる3. 同じ児童とずっと同じクラスで過ごせ、児童同士が親密になれる4. 異学年との交流があり、学年を超えた友達ができやすい5. 学校と保護者・地域住民が連携した教育活動を展開しやすい6. その他 () |
|---|

(6) (4) の回答で「1 学年あたり4 学級以上」と答えられた方は、そう思われる理由をご回答ください。(1つに○)

1. さまざまな個性を持つ先生と出会える
2. 協調性を養う機会に恵まれる
3. クラス替えにより、たくさんの友達ができる
4. 児童が相互に刺激しあい、切磋琢磨する機会が増える
5. 習熟度別学習やグループ学習など多様な学習形態がとりやすい
6. 運動会や学習発表会等の学校行事が盛り上がる
7. その他 ()

問2. 中学校の規模についてご回答ください

(1) 中学校の1 学級あたりの生徒数は、町独自の少人数学級編制で、「1 学級 35 人」としていますが、国の基準によると「1 学級 40 人を標準とする」となっています。1 学級あたりの生徒数について、どう思われるかご回答ください。

(1つに○)

1. 現状より少ない方がよい
2. 現状のままでよい
3. 現状より多い方がよい

(2) (1) の回答で「現状より少ない方がよい」と答えられた方は、そう思われる理由をご回答ください。

(複数選択可)

1. 生徒一人ひとりに目が届き、きめ細かな指導が行われる
2. 学力を伸ばすことができる
3. クラスとしての一体感が生まれる
4. 一人ひとりが大切にされる
5. 教室にゆとりがでる
6. 学習活動や学校行事等において、生徒一人ひとりの活躍や登場の機会が多くなる
7. 生徒の人間関係が深まりやすい
8. その他 ()

(3) (1) の回答で、「現状より多い方がよい」と答えられた方は、そう思われる理由をご回答ください。

(複数選択可)

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. 多くの生徒との交流が生まれる2. お互いに学力を高めあうことができる3. 社会性を身に付ける機会に恵まれる4. 集団内で色々な役割分担を経験できる5. 運動会や発表会等の学校行事が盛り上がる6. 多様な考え方に触れる機会が多くなりやすい7. その他 () |
|---|

(4) 中学校の学級数は、国の基準によると「1 学年あたり 4～6 学級（全校で 12～18 学級）を標準とする（なお、全学年でクラス替えを可能としたり、学級を超えた集団編成を可能としたり、同学年に複数教員を配置するためには、少なくとも 1 学年 2 学級以上（全校で 6 学級以上）が必要となります。また、免許外指導をなくしたり、全ての授業で教科担任による学習指導を行ったりするためには、少なくとも 9 学級以上を確保することが望ましい）」となっていますが、どの程度の学級数が望ましいと思われるかご回答ください。（1 つに○）

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. 1 学年あたり 1 学級2. 1 学年あたり 2～3 学級3. 1 学年あたり 4 学級以上 |
|---|

(5) (4) の回答で「1 学年あたり 1 学級」または「1 学年あたり 2～3 学級」と答えられた方は、そう思われる理由をご回答ください。（1 つに○）

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. 一人ひとりに目が行き届いた、きめ細やかな教育ができる2. 学校行事などで一人ひとりに活動の場があり、かつ、活動時間が十分取れる3. 同じ生徒と比較的同じクラスで過ごせ、生徒同士が親密になれる4. 異学年との交流があり、学年を超えた友達ができやすい5. 学校と保護者・地域住民が連携した教育活動を展開しやすい6. その他 () |
|---|

(6) (4) の回答で「1 学年あたり4 学級以上」と答えられた方は、そう思われる理由をご回答ください。(1 つに○)

1. さまざまな個性を持つ先生と出会える
2. 協調性を養う機会に恵まれる
3. クラス替えにより、たくさんの友達ができる
4. 生徒が相互に刺激しあい、切磋琢磨する機会が増える
5. 習熟度別学習やグループ学習など多様な学習形態がとりやすい
6. 運動会や発表会等の学校行事が盛り上がる
7. その他 ()

問3. 小学校の配置についてご回答ください

(1) 小学校の通学距離は、国の基準によると「おおむね4 キロメートル以内であること（おおむね1 時間以内）」となっていますが、どの程度の時間までが許容範囲と思われるかご回答ください。(1 つに○)

1. 15 分未満
2. 15 分以上 30 分未満
3. 30 分以上 45 分未満
4. 45 分以上 60 分未満
5. 60 分以上

問4. 中学校の配置についてご回答ください

(1) 中学校の通学距離は、国の基準によると「おおむね6 キロメートル以内であること（おおむね1 時間以内）」となっていますが、どの程度の時間までが許容範囲と思われるかご回答ください。(1 つに○)

1. 15 分未満
2. 15 分以上 30 分未満
3. 30 分以上 45 分未満
4. 45 分以上 60 分未満
5. 60 分以上

問5. 地域における拠点としての役割についてご回答ください

(1) 小・中学校は児童・生徒の大切な学びの場であるとともに、地域における活動拠点としての役割も担っています。小・中学校がこれからの地域における拠点として担う役割の中で、重要だと考えるものをご回答ください。

(複数選択可)

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. 児童・生徒の放課後の居場所・活動場所2. 地域防災の拠点3. 地域の活動・交流の拠点4. スポーツ活動の拠点5. 文化活動の拠点6. 生涯学習の拠点7. 子育て支援の拠点8. 高齢者福祉の拠点9. 障がい者福祉の拠点10. 児童・生徒の学びの場以外の役割は不要11. その他 () |
|--|

問6. 学校の適正な規模・配置についてご回答ください

(1) ここまで、学校の適正規模等に関連して、望ましい学級人数、また、学校が地域の拠点として期待される役割などについてお尋ねをしてまいりましたが、さらに、検討にあたっては、特にどのような点に配慮するべきかご回答ください。

(1つに○)

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. 多くの児童・生徒、学年との交流2. 多様な考え方に触れる機会の確保3. 幼・保・小の連携、小・中連携の推進4. 放課後児童、小1の壁対策の推進5. その他 () |
|--|

※小1の壁：子どもが小学校に入学した際、保護者が仕事と子育ての両立が難しくなること。

(2) 学校施設の老朽化がすすんでいる現状をふまえ、今後、どのような考え方で整備を進めていく必要があると思われるかご回答ください。(1つに○)

1. 現在の学校数を維持するために、多額の経費が必要であっても、全ての学校を建て替える
2. 現在の学校数・規模を前提に、当面、老朽化が著しい部分のみを改修する
3. 現在の学校数・規模を前提に、老朽化の度合いに応じて、順次改修を行いながら、将来的に建て替える
4. 現在の学校数を維持するが、将来の児童・生徒数を考慮し、規模を縮小したうえで、老朽化の度合いに応じて、必要な改修を行いながら、将来的にすべて建て替える
5. 将来の児童・生徒数をふまえ、学校の統廃合も視野に検討し、その検討結果に基づき、建て替える
6. その他 ()

【自由意見】

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。